



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月7日

上場会社名 株式会社ジオホールディングス 上場取引所 東
コード番号 2681 URL <https://www.geonet.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長執行役員 （氏名）遠藤 結蔵
問合せ先責任者 （役職名）執行役員グローバル経理財務部GM （氏名）梶田 義章 TEL 052-350-5711
半期報告書提出予定日 2025年11月7日 配当支払開始予定日 2025年12月10日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	216,943	8.6	5,085	△6.1	5,572	7.1	3,227	14.2
2025年3月期中間期	199,724	△7.4	5,414	△25.9	5,201	△40.0	2,825	△50.6

（注）包括利益 2026年3月期中間期 3,295百万円（9.2％） 2025年3月期中間期 3,018百万円（△46.9％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	81.22	81.06
2025年3月期中間期	71.15	70.85

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	273,723	93,053	33.9
2025年3月期	252,807	90,469	35.7

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 92,926百万円 2025年3月期 90,243百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
2026年3月期	—	17.00			
2026年3月期（予想）			—	17.00	34.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	470,000	9.9	11,500	2.2	11,000	△10.0	5,500	21.2	138.40

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	39,783,552株	2025年3月期	39,718,052株
2026年3月期中間期	81株	2025年3月期	41株
2026年3月期中間期	39,739,401株	2025年3月期中間期	39,708,566株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

連結業績(2025年4月1日～2025年9月30日)

当中間連結会計期間におけるわが国経済環境は、緩やかな景気回復基調を維持したものの、依然として物価高騰の影響が家計を圧迫し、消費者の節約志向が強く見られました。また、SDGsへの関心の高まりから、使い捨てではなく、長く大切にモノを使う「循環型消費」への意識が社会全体でさらに浸透しました。

リユース業界におきましては、節約志向の「賢い消費」から「環境に配慮した賢い消費」に変化し、市場は引き続き拡大しました。特に、日常的に発生する「まだ使える不用品」のリユース需要が高まり、フリマアプリ等の競合がある中で、手軽さ、安心感、そして多様な品目の買取販売に対応できる店舗の利便性が評価されております。

このような環境のなか、当社グループは「豊かで楽しい日常の暮らしを提供する」ことを目指し、お客様の選択可能性を広げ利便性を向上するため、インターネットを介した電子商取引の拡充の他、2nd STREETを中心としたリユース店舗の新規出店を、国内及び海外において推進し持続的成長の実現に取り組んでおります。

リユース系リユース商材の動向といたしましては、2nd STREETにおける主力商材の衣料・服飾雑貨が好調に推移いたしました。海外地域においては、アジア圏を中心に活動範囲を広げており、世界のリユース市場における認知度向上に向けて、着実に店舗数・売上を拡大しております。リユースラグジュアリー商材を扱うOKURA TOKYOは、前期好調だったインバウンド需要の落ち着きと米国関税の影響により、厳しい状況が継続しております。以上の結果、リユース系リユース商材全体は、売上高93,555百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

メディア系リユース商材の動向といたしましては、ゲームソフトの販売はダウンロード販売への移行が進み、パッケージ版は縮小傾向にあります。次世代家庭用ゲーム機「Nintendo Switch 2」の発売効果により、リユースゲーム関連商材は横ばいとなりました。スマートフォンやタブレット端末等のリユース通信機器商材につきましては、新型iPhoneの発表から買取販売ともに増加し、店頭サポートスタッフを配置した「GEO mobile」のショッピングモール等への出店が増えたことにより好調に推移しました。以上の結果、メディア系リユース商材全体は、売上高41,922百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

新品商材の動向といたしましては、2025年6月発売の次世代家庭用ゲーム機「Nintendo Switch 2」と周辺機器を含むゲーム関連商材の売上が好調に推移し、売上高53,270百万円（前年同期比19.7%増）となりました。

これらの結果、当中間連結会計期間における当社グループの業績は、売上高216,943百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益5,085百万円（前年同期比6.1%減）、経常利益5,572百万円（前年同期比7.1%増）、親会社株主に帰属する中間純利益3,227百万円（前年同期比14.2%増）となりました。

なお、当中間連結会計期間における当社グループの店舗数の状況は以下のとおりとなりました。

() 内は、前連結会計年度末との増減数であります。

	直営店			F C店・代理店			合計	
	出店数		退店数	出店数		退店数		
ゲオグループ店舗数	2,101	93	35	132	1	12	2,233	(+47)
2nd STREET (国内)	850	34	9	56	1	0	906	(+26)
2nd STREET (米国)	51	5	1	0	0	0	51	(+4)
2nd STREET (台湾)	44	5	0	0	0	0	44	(+5)
2nd STREET (マレーシア)	28	5	0	0	0	0	28	(+5)
2nd STREET (タイ)	5	1	0	0	0	0	5	(+1)
2nd STREET (シンガポール)	1	1	0	0	0	0	1	(+1)
2nd STREET (香港)	1	1	0	0	0	0	1	(+1)
GEO	967	15	14	76	0	12	1,043	(△11)
OKURA TOKYO (お蔵)	22	0	2	0	0	0	22	(△2)
LuckRack	37	10	0	0	0	0	37	(+10)
その他	95	16	9	0	0	0	95	(+7)

(注) 1. 屋号毎の店舗数をカウントしています。

2. 2nd STREETは衣料品や家電製品等の買取販売を行う店舗(屋号: 2nd STREET、Super2nd STREET、2nd OUTDOOR、JUMBLE STORE等)をカウントしています。

3. GEOは家庭用ゲーム・携帯電話・スマートフォンの買取販売、DVDレンタル等を行う店舗(屋号: GEO、GEO mobile)をカウントしています。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は179,282百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,210百万円増加いたしました。これは主に売掛金が1,011百万円減少した一方、現金及び預金が9,381百万円、商品が5,525百万円増加したことによるものであります。固定資産は94,441百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,705百万円増加いたしました。これは主に建物及び構築物(純額)が1,594百万円、使用権資産(純額)が1,991百万円、有形固定資産のその他(純額)に含まれる土地が2,263百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、273,723百万円となり、前連結会計年度末に比べ20,915百万円増加いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は46,947百万円となり、前連結会計年度末に比べ344百万円増加いたしました。これは主に買掛金が312百万円、流動負債のその他に含まれる未払金が974百万円減少した一方、1年内返済予定の長期借入金が1,293百万円増加したことによるものであります。固定負債は133,722百万円となり、前連結会計年度末に比べ17,987百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が15,706百万円、リース債務が2,203百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、180,669百万円となり、前連結会計年度末に比べ18,331百万円増加いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は93,053百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,584百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益3,227百万円及び剰余金の配当675百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は33.9%(前連結会計年度末は35.7%)となりました。

（3）当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ9,523百万円増加し、74,283百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は2,645百万円（前年同期は4,796百万円の増加）となりました。

これは、棚卸資産の増加額が5,295百万円、レンタル用資産取得による支出が978百万円、法人税等の支払額が2,336百万円ありましたが、税金等調整前中間純利益が5,530百万円、減価償却費が3,671百万円、レンタル用資産減価償却費が1,288百万円、売上債権の減少額が1,036百万円ありましたが、これが主な要因であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は9,153百万円（前年同期は5,803百万円の減少）となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出が7,451百万円、無形固定資産の取得による支出が1,173百万円ありましたが、これが主な要因であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、増加した資金は16,042百万円（前年同期は14,787百万円の増加）となりました。

これは、長期借入金の返済による支出が4,999百万円ありましたが、長期借入れによる収入が22,000百万円ありましたが、これが主な要因であります。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月9日に公表いたしました通期業績予想からの変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	60,090	69,471
売掛金	15,930	14,919
商品	73,887	79,412
その他	15,334	15,652
貸倒引当金	△170	△173
流動資産合計	165,072	179,282
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,307	21,901
使用権資産(純額)	22,173	24,164
その他(純額)	13,802	16,159
有形固定資産合計	56,283	62,226
無形固定資産	5,030	5,171
投資その他の資産		
敷金及び保証金	19,834	20,580
その他	7,414	6,854
貸倒引当金	△826	△391
投資その他の資産合計	26,421	27,043
固定資産合計	87,735	94,441
資産合計	252,807	273,723
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,686	12,374
1年内返済予定の長期借入金	10,849	12,143
未払法人税等	2,358	2,320
その他	20,708	20,108
流動負債合計	46,603	46,947
固定負債		
社債	12,175	12,175
長期借入金	71,475	87,181
リース債務	23,549	25,753
資産除去債務	7,655	7,747
その他	880	864
固定負債合計	115,734	133,722
負債合計	162,338	180,669
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,263	9,317
資本剰余金	3,676	3,729
利益剰余金	77,527	80,079
自己株式	△0	△0
株主資本合計	90,467	93,127
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	18
為替換算調整勘定	△232	△218
その他の包括利益累計額合計	△223	△200
新株予約権	160	47
非支配株主持分	65	79
純資産合計	90,469	93,053
負債純資産合計	252,807	273,723

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	199,724	216,943
売上原価	117,937	128,177
売上総利益	81,787	88,765
販売費及び一般管理費	76,372	83,680
営業利益	5,414	5,085
営業外収益		
為替差益	-	189
不動産賃貸料	601	575
受取保険金	101	151
その他	378	346
営業外収益合計	1,081	1,262
営業外費用		
支払利息	234	438
不動産賃貸費用	221	182
為替差損	776	-
その他	61	153
営業外費用合計	1,293	775
経常利益	5,201	5,572
特別損失		
減損損失	31	42
特別損失合計	31	42
税金等調整前中間純利益	5,169	5,530
法人税、住民税及び事業税	2,547	2,268
法人税等調整額	△256	△7
法人税等合計	2,290	2,260
中間純利益	2,879	3,270
非支配株主に帰属する中間純利益	54	42
親会社株主に帰属する中間純利益	2,825	3,227

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
中間純利益	2,879	3,270
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	9
為替換算調整勘定	147	16
持分法適用会社に対する持分相当額	-	0
その他の包括利益合計	138	25
中間包括利益	3,018	3,295
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	2,962	3,250
非支配株主に係る中間包括利益	55	44

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	5,169	5,530
減価償却費	2,971	3,671
レンタル用資産減価償却費	1,355	1,288
受取利息及び受取配当金	△71	△83
支払利息	234	438
売上債権の増減額 (△は増加)	1,439	1,036
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,810	△5,295
レンタル用資産取得による支出	△1,217	△978
仕入債務の増減額 (△は減少)	△840	△371
その他	692	108
小計	7,921	5,345
利息及び配当金の受取額	41	74
利息の支払額	△238	△438
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,927	△2,336
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,796	2,645
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,926	△7,451
無形固定資産の取得による支出	△1,146	△1,173
その他	269	△527
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,803	△9,153
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,500	-
長期借入れによる収入	16,000	22,000
長期借入金の返済による支出	△4,124	△4,999
社債の発行による収入	5,472	-
配当金の支払額	△676	△677
その他	△383	△279
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,787	16,042
現金及び現金同等物に係る換算差額	△155	△11
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	13,624	9,523
現金及び現金同等物の期首残高	58,556	64,760
現金及び現金同等物の中間期末残高	72,181	74,283

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）及び当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

当社グループは小売サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。